

週刊センターニュース

No.106



第106号(2006年4月24日)毎週月曜日発行
発行: 金沢大学 大学教育開発・支援センター
URL: http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm

共同学習会のご案内

第113回 日時: 4月27日(木) 16:30~18:00

場所: 角間キャンパス総合教育棟2階大会議室

報告者: 渡辺 達雄(大学教育開発・支援センター 評価システム研究部門)

テーマ: 韓国的高等教育

趣旨: お隣韓国は、高等教育進学率が80%を超えている。現在進行中の大学改革や当面している課題は、現在の日本の状況と同様のものであったり、あるいは今後、日本が直面することになる問題を考えるさい有益な材料となろう。

大学・大学院等の設置認可制度の改善策と設置基準改正

平成18年3月25日、上智大学8号館にて、地域科学研究会主催の高等教育セミナー「大学・短大・大学院の設置認可・届出の新展開」が開催されました。同セミナーには、全国の国・公・私立大学、大学共同利用機関より、およそ170名が参加し、極めて盛況のうちに、講演と質疑応答が行われました。

第一講演者である鈴木敏之氏(文部科学省高等教育局大学振興課大学設置室長)より、「大学設置認可・届出行政～質保証と運用 教学面を中心とした改正事項を踏まえて」とのタイトルで、平成17年度の設置認可・届出の概要、設置審査の当面する課題と対応、年次計画利用状況調査の実施状況とその充実策等について説明が行われました。

第二講演者である西井知紀氏(文部科学省高等教育局大学振興課課長補佐)からは、「改正設置基準(大学・短大・大学院)の要点と運用 主要事項及び教学上の留意点」というタイトルで、大学設置基準、大学院設置基準の改正方向を軸に、教員組織の在り方(大学教員の職、講座/学科目制等)、大学院教育の実質化に向けた諸方策、高等教育の質保証問題などを廻り説明がなされました。

第三講演者である高祖敏明氏(上智学院理事長、大学設置・学校法人審議会(学校法人分科会)委員)からは、「質の保証に向けた学校法人審査の展開 情報開示と説明責任を果すシステムづくり」とのタイトルで、私学の自主性と学校法人分科会の任務との関係、学校法人の寄付行為(変更)認可に係る審査の枠組みの変化、学校法人の寄付行為(変更)に係る審査の観点、規制改革と学校法人審査による質の保証方策、質保証のシステムづくりとその運用などについての説明がありました。

第四講演者である永田眞三郎氏(関西大学教授、大学設置・学校法人審議会会長)からは、「大学設置認可と質保証に向けた大学の責務 設置認可・アフターケア・認証評価の仕組みの中で」というタイトルで、設置認可の弾力化とその中で顕在化してきた問題点、設置認可に際しての判断基準の明確化の必要性、設置認可システムの枠組みを通じた対話の中での「大学づくり」の必要性、十全なアフターケアの仕組みの確立の必要性等の点に関して説明がなされました。

今回のセミナーは、文部科学省の設置認可行政が弾力化されていくと、いく高等教育政策の大きな流れの中で、法令上の縛りや設置認可システムの十全な運用を通じて、高等教育の質保証をどこまで確保していけるのか、設置認可と認証評価が協働できるようなシステム構築が果して可能なのかということを考える上で、極めて有効な契機を提供し得るものでした。

(文責：評価システム研究部門 早田幸政)

『学習・研究環境改善のための学生生活調査報告書2005年』(教育企画会議学生生活部会編集)刊行

標記報告書(古紙配合率100%再生紙使用)が刊行され、全ての教職員の方々に読んでいただけるよう各部局に配布されました。ご精読いただき、学生・院生への学習支援・研究指導に活用されるようお願いします。

調査実施後に改善された点もあります。例えば、『報告書』143頁以下の自由記述「駐車場、通学手段など交通について」で、学生からの要望として何度も登場する、<バス代が高すぎる><金沢駅行きの最終バスの時刻(21時20分発)が早すぎる>といった指摘(週刊センターニュース第93号(2006年1月23日)掲載「提案：学生の通学手段に関する改善について 『平成16年度学習・研究環境改善のための学生生活調査』分析結果報告」参照)に関して、本年4月から、1000円バスの試行実験や21時45分発金沢駅行き(学期休み期間運休)の運行が始まっています。

今後、当センターの学生支援プロジェクト(各部局教員、学生部職員、学生で構成)において『報告書』の分析を行い、教育企画会議をとおして関係部局に改善提案をしてみたいと思いますので、ご意見がありましたら、各部局のプロジェクト委員あるいは、当センターまでお寄せください。また、上記調査は隔年実施であり、今年度、次の調査を行うことになっており、調査項目の全面的見直しをする予定ですので、調査項目・方法等につきましてもご意見をいただければ幸いです。

(文責：教育支援システム研究部門 青野 透)

2件の基盤研究、採択

本センターが昨年申請しました科学研究費補助金「大学評価指標における『学生支援』の位置づけに関する実証的研究」基盤研究(C)、平成18-19年度(研究代表者：青野透)および「社会科学分野の高度専門人材育成大学院に係る認証評価の充実策に関する実証的研究」基盤研究(C)、平成18-19年度(研究代表者：早田幸政)が同時採択されました。今後研究を実施するにさいしまして、皆様のご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。